

# ハタヤコードリール 安全取扱い・点検マニュアル

## ご使用の前に必ずお読みください。

この度は、ハタヤコードリールをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は製品を正しく、安全に長くご使用いただけるよう、保守・点検を行っていただくための点検マニュアルです。本書は責任者の方が保管してください。



本書で記述している内容は製品を安全に使用していただくための点検事項です。故障等修理が必要な場合、専門の知識が必要です。専門の知識を持たない方が修理をしますと、製品が十分に機能しない、また事故やけがの原因となるおそれがありますのでお買い上げの販売店、弊社までご連絡ください。

### 事業者の方へ

コードリールの取扱い者の方には、「安全教育」を実施するなどして、正しい取り扱い方法、低圧電気の知識など適正な知識を持って取り扱いいただきますようお願いいたします。

## 始業前点検

ご使用の前に必ず行っていただきたいこと

製品に異常が見られる場合は速やかに使用を中止し、修理依頼をしてください。

### 1 外観に使用上支障をきたす有害な損傷がないか確認してください。

コンセント部にはホコリ（防雨型は雨）などの侵入を防ぐキャップが付いています。キャップが破損していると、本来の機能を発揮できず、**発火**や**感電**など起こすおそれがあります。

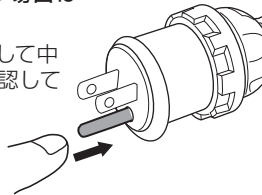
### 2 コンセント・プラグに損傷・汚れ・腐食・付着物がないか確認してください。

（刃受け部の損傷・ゆりみ、プラグ刃の曲がり等）

差し込み口にホコリや塵が溜まっていると**ショート**、**故障**、**火災**、**発火**等を起こすおそれがあります。コンセントに差し込んでもすぐに抜けてしまったり、ゆるんでいると**発熱**や**焼損**することがあります。刃が曲がっている状態だと接続が不完全になり、**発熱**や**焼損**することがあります。

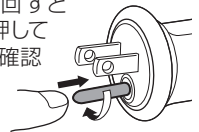
#### ●ニュートビプラグの場合は （青色のプラグ）

アースピンを指で押して中に入らないことを確認してください。



#### ●フキユートビプラグの場合は （透明グレー色のプラグ）

アースピンを右に回すとロックします。指で押して中に入らないことを確認してください。



### 3 ケーブルをドラムから全長引出しているかを確認してください。

ケーブルを巻いたまま使用すると、ケーブルが発熱し、**火災**、**故障**の原因となるので必ず引き出してください。

### 4 ケーブルに傷・ひび割れ・膨れ・ヘコミがないか確認してください。

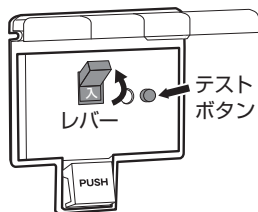
ケーブル表面に傷がついたまま使用すると、**漏電**、**感電**、**短絡**の原因となるので使用しないでください。

### 5 電源ランプが点灯するか確認してください。

電源ランプが点灯している時が正常で使用可能な状態です。点灯しない場合は、ケーブルに損傷等異常がないか確認してください。プラグ→コンセント間の導通テストを行ってください。導通のない場合は内部配線に異常がある可能性がありますので、すぐに使用を中止して、修理依頼をしてください。

6 ケーブルや本体が湿潤なところに設置されていないか確認してください。  
水溜まりの中などにはつけないでください。

7 漏電遮断器付機種のみ 漏電遮断器の動作テストを必ず行ってください。



＜動作テストの方法＞

1. コードリールを電源に接続してください。
2. 漏電遮断器のレバーを「入」にしてください。
3. 「テストボタン」を押してください。  
※漏電遮断器のタイプによって左図と場所が異なります。
4. 漏電遮断器のレバーが「切」になったら、  
漏電遮断器は正常に作動します。

8 温度センサー付機種のみ 温度センサーの熱感知部分に傷(ヘコミ)がないか確認してください。



傷(ヘコミ)があると温度センサーが正常に作動しない場合があります。

※温度センサーは本体中筒部に設置してあります。

ケーブルを全長引き出して点検してください。

※温度センサーが作動して電源が遮断された場合、電源ランプが消灯しますので必ず接続されている機器のスイッチを切り、差し込みプラグをコードリールから抜いてケーブルを全長引き出してください。

●手動復帰型の復帰方法●

復帰ボタンを押してください。

●自動復帰型の復帰方法●

ケーブルの温度が下がり、電源ランプが再点灯したら  
使用可能です。

## 定期点検 定期的に点検を受けていただきたいこと

お客様の使用環境、使用頻度に合わせた定期的な点検計画をお願いします。

1 ケーブル、プラグ、コンセントに使用に支障をきたす損傷がないか確認

2 内部配線接続部にネジ・線の緩みや抜けがないか確認

3 絶縁抵抗値が規定以上あるか確認

500ボルト絶縁抵抗計により測定した絶縁抵抗値5MΩ以上  
(電気用品の技術基準附表第四より)

またはその他自主規定等によって定められた絶縁抵抗値以上

●測定の詳しい方法は…

ハタヤホームページ(<http://www.hataya.jp>)TOP→「製品紹介」→「FAQ」→  
「コードリールのメガテスターチェックのやり方を教えてください。」をご覧ください。

4 絶縁耐力試験の実施 ※試験には専用の機器が必要です。  
(100V仕様→1000V・1分間 200V仕様→1500V・1分間に耐えて各部に異常がないこと)

点検・検査を有償にて承っております。点検・検査をご用命の際はご購入の販売店または弊社までお申し付けください。

発売元 株式会社 **ハタヤリミテッド**

製造元 株式会社 **畑屋製作所**

顧客サービスデスク  0120-686-888

ホームページ <http://www.hataya.jp>

フリーダイヤル